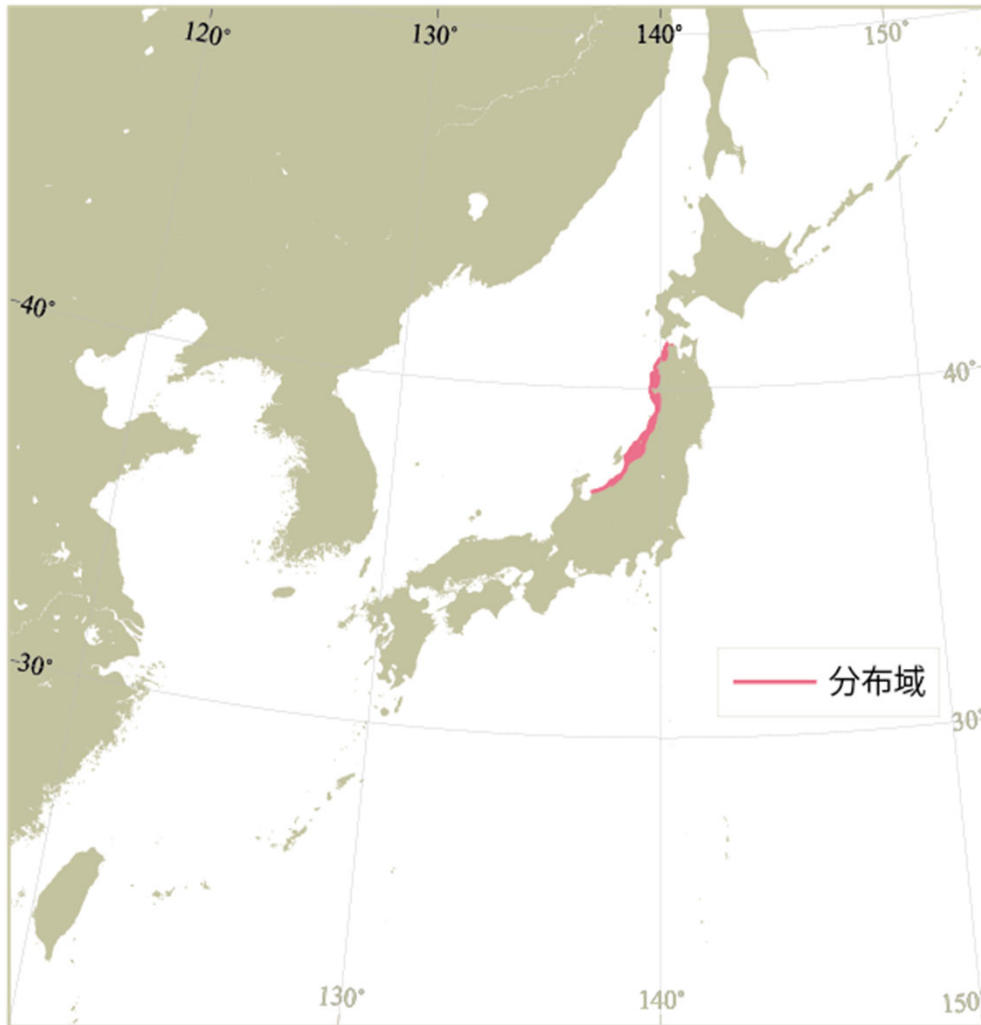




# マガレイ日本海系群 令和6年度資源評価結果

# 生物学の特性

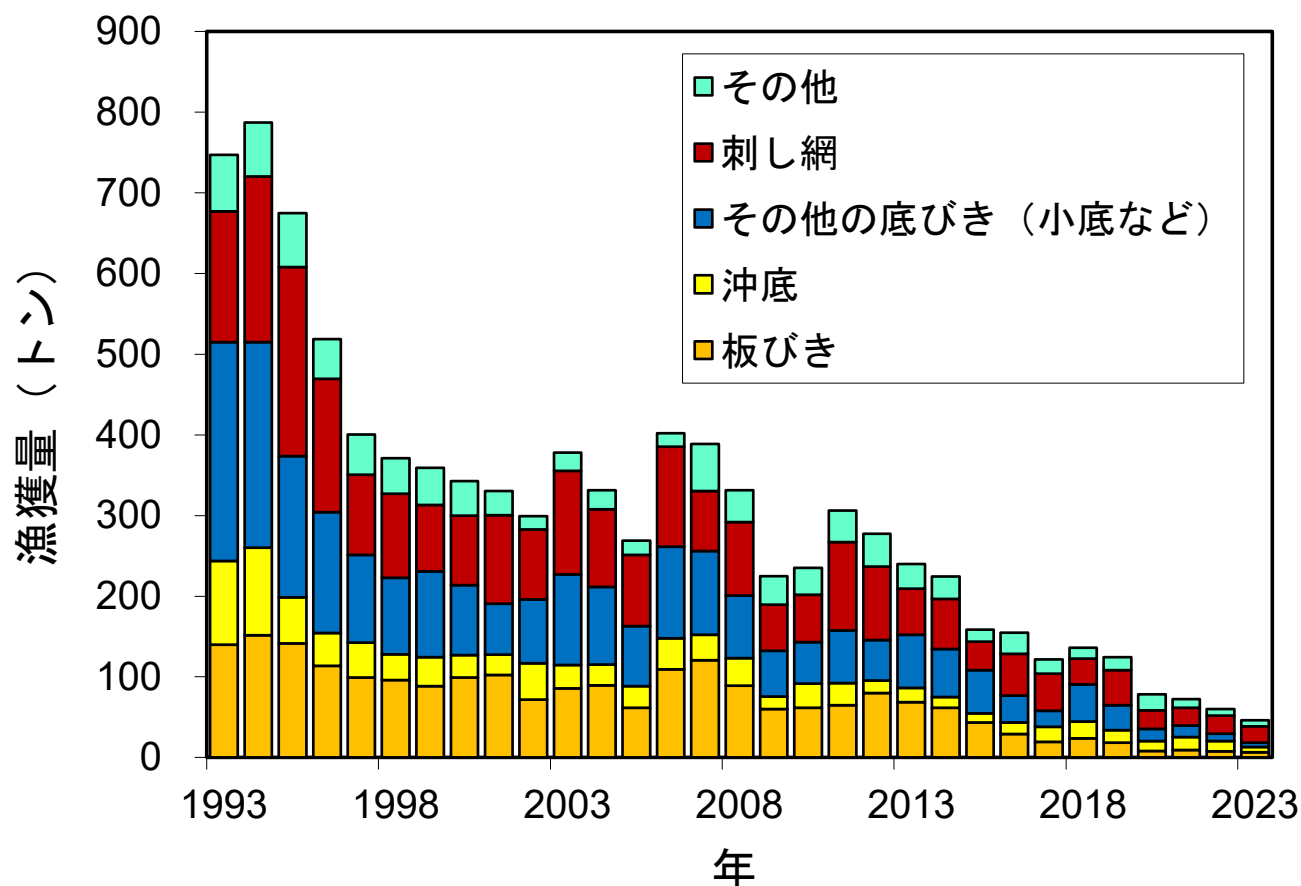


## 生物学の特性

- 寿命：雄7歳、雌10歳
- 成熟開始年齢：  
雄2歳（割合不明）、3歳（100%）  
雌3歳（70%）、4歳（100%）
- 産卵期・産卵場：  
青森県沖2～4月、新潟県沿岸2～5月（盛期は3～4月）
- 食性：  
多毛類、二枚貝、小型甲殻類
- 捕食者：不明

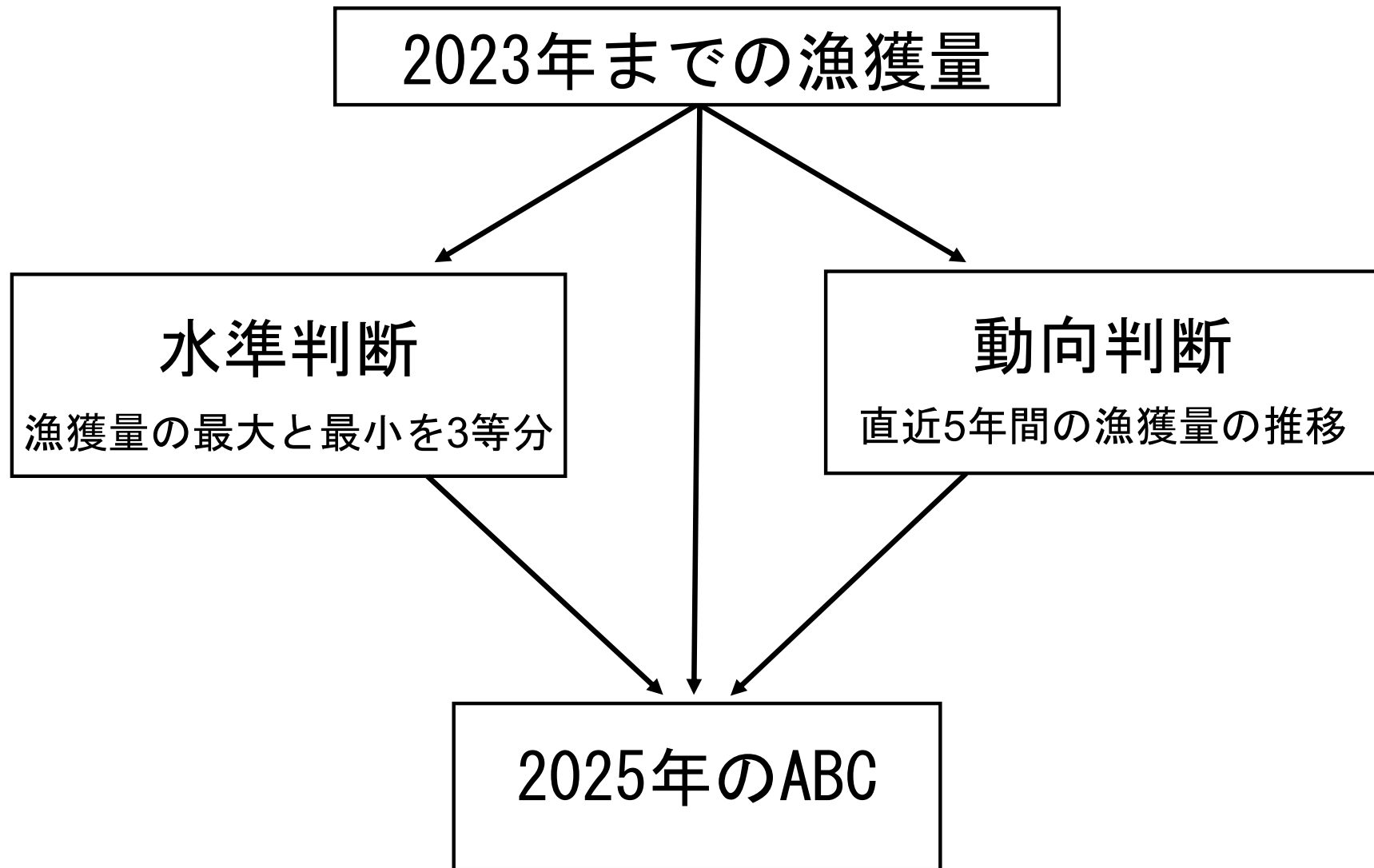
- ほぼ周年漁獲されるが、春季に漁獲量が多い

# 漁獲の動向



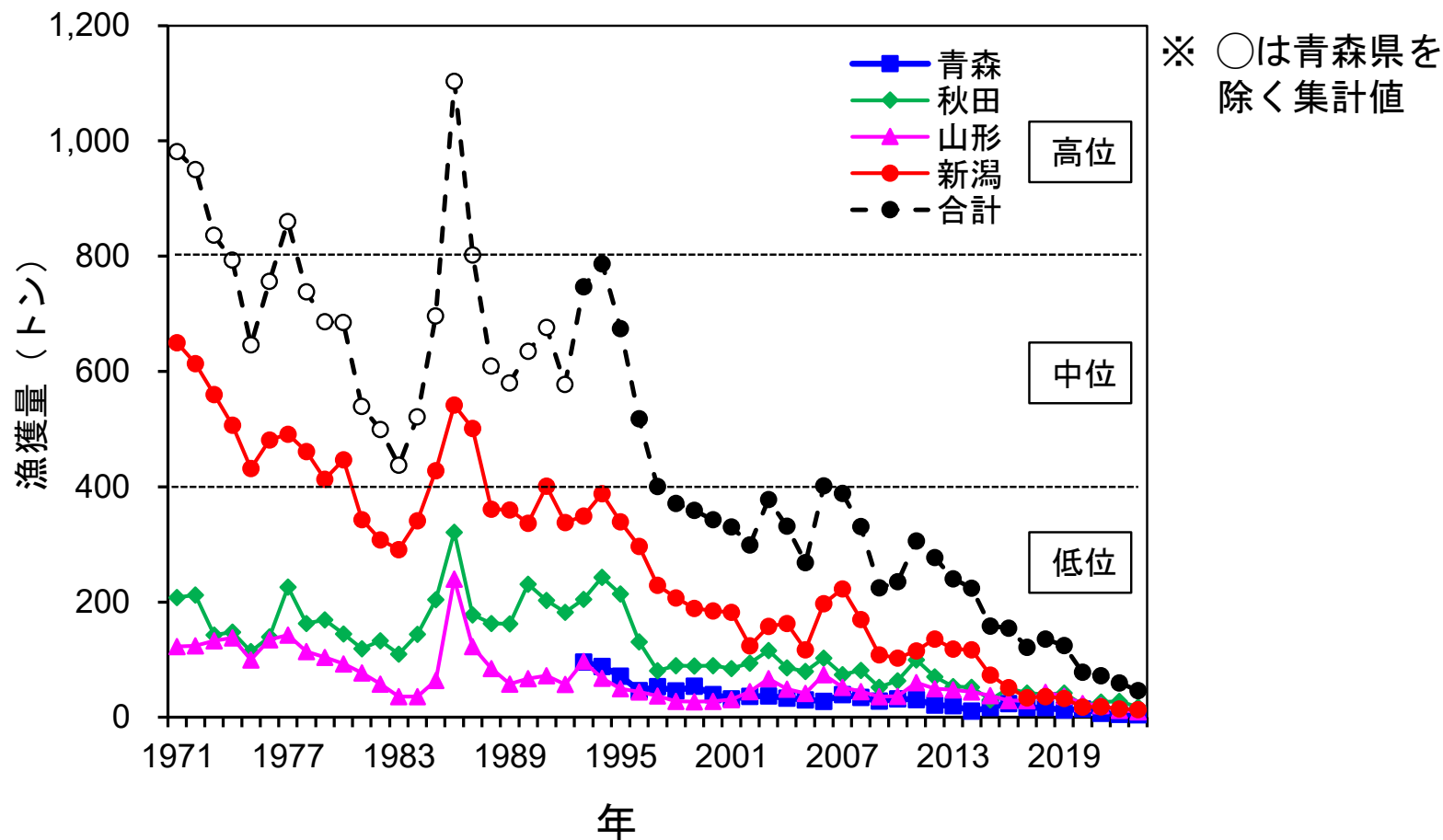
- 漁獲統計が揃った1993年以降では、漁獲量は1994年の787トンをピークに減少傾向、2023年には46トン
- 2023年の漁業種類別では、底びき網全体が38%、刺し網が44%
- 沿岸域で主に底びき網と刺し網によって漁獲

# 資源評価の流れ



※ ABCは漁業法改正前の考え方に基づく基本規則を適用した値

# 資源の動向



※水準区分 低位／中位：漁獲量400トン、中位／高位：漁獲量800トン  
(1971～2023年の各県合計漁獲量の最大値に近い1,200トンを3等分して判断)

- 資源水準：2023年の漁獲量46トンから「低位」
- 資源動向：直近5年間（2019～2023年）の漁獲量の推移から「減少」

# 資源評価のまとめ

- マガレイ日本海系群資源水準は低位、動向は減少
- 漁獲量に基づいて資源状態を判断した

## 2025年ABC

管理基準	Target/Limit	2025年 ABC (トン)	漁獲割合 (%)	F値 (現状のF値からの 増減%)
0.7・Ct・0.89	Target	30	—	—
	Limit	40	—	—

- 漁業法改正前の考え方に基づく基本規則2-2) により、  
 $ABC\ limit = \delta_2 \cdot Ct \cdot \gamma_2$ で計算
- $\delta_2$  : 0.7 (低位水準での推奨値)
- Ct : 直近3年間 (2021~2023年) の平均漁獲量
- $\gamma_2$  : 0.89 (直近3年間の漁獲量の傾きと平均値から算出)